

林業専用道の冬季工事を工期短縮

グラウンドセル
砕石舗装工法

静岡県浜松市

静岡県浜松市は東海工業地帯の一端として様々な機器の工場が太平洋沿岸に集積していることで知られますが、実はその内陸側、市域の66%は森林で占められており、東海地方屈指の林業地帯ともなっています。

近年、市ではその競争力の向上を図るため林道や林業専用道の整備を推進、自動車や伐採機械を隅々まで往来容易にする環境づくりが図られています。

そうした事業の一環として計画された「林業専用道石切線」は当初、コンクリート舗装で計画していましたが、冬季の施工となることが想定されました。冬季はコンクリート養生に時間がかかり工期が厳しくなると予想されたことから、養生期間が



不要な「グラウンドセル」を用いた舗装工事へと計画が変更されました。

グラウンドセルはハチの巣状の構造を持つジオシンセティックスで、展開した空隙部分に砕石を充填し転圧することで拘束補強効果を発揮して、通過車両の荷重を分散しつつ輻掘れの発生を抑える丈夫な道路を構築することができます。

使用する部材が少なく、作業は展開・充填・転圧の繰り返しのため施工フェーズもシンプル。柔軟性にも優れており、路面の形状や曲がり

容易に対応できます。

また、原料の高密度ポリエチレンには耐候安定剤が配合されており、長期にわたる太陽光線、風雨等への高い耐候性も確保されています。加えて酸性土・アルカリ性土（石灰・セメント安定処理土）に対しても高い耐性を有しています。

工事概要

施主：浜松市天竜森林事務所
工事名：森林環境保全整備事業
林業専用道石切線開設工事
施工会社：株式会社渡辺兄弟工業
商品名 グラウンドセル 約1,800m²



お国自慢

成田山新勝寺

人事総務部 湯本 穂波

皆さん、千葉県と聞いたら最初に何を思い浮かべますか？夢の国や国際空港、ぴーなっつなどたくさん魅力があります。千葉県出身の私がオススメするのは成田山です。

成田山新勝寺は一千年以上の歴史を持ち、年間一千万人以上が参拝に訪れる日本有数の寺院です。境内には滝や池もある広大な公園があり、桜や紅葉など、四季折々の植物も楽しむことができます。また、節分には多くの著名人が集まり豆まきをするのが恒例で、毎年大きな盛り上がりを見せています。参道は約八百メートルあり、多くの飲食店やお土産屋さんがありますが、ぜひ立ち寄っていただきたいのが「駿河屋」という鰻屋さんです。成田は鰻屋の激戦区でどのお店も美味しいのですが、ここの鰻は外はカリッと、中はふわっとしており、秘伝のタレも相まってほったが落ちてしまいそうになる美味しさです！とても人気なお店のため整理券必須ですが、待ち時間で新勝寺へ参拝しているとあっという間に自分の番になります。

寺院や自然、美味しい食べ物など、魅力たっぷりの成田山を、ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。

岡三リビック
商品群

道路・盛土 多数アンカー式補強土壁工法 トリグリッドEX パラリンク フラットパネル RRR工法 EDO-EPS工法
ダイブラハウエル管 法面・防災 多機能フィルター ミニアンカーDO PDR工法 サビレス100
維持・管理 ARISライナー工法 SWライナー工法 RCGインナーシリカ Tn-p工法 ローマットHDB
鉄鋼建材 ライナープレート コルゲートパイプ 景観・環境 ロッキーステージ 斜面いりどり工法 フォトリックアート

能登半島地震 幹線の迅速復旧に貢献

EDO-EPS 工法

石川県・のと里山海道

今年の1月1日、「令和6年能登半島地震」が発生。M7.6、大規模な地殻変動を伴うもので、石川県を中心に多くの被害をもたらしました。

半島での地震ということで被災地に到達可能な支援ルートが限られる中、それら国道や自動車専用道が大

きく被災。特に、県庁所在地である金沢市と半島中心部の穴水町を結ぶ「のと里山海道」は複数個所で陥没が発生するなど被害が広範囲で、一刻も早い復旧により生活再建を加速していくことが求められました。

そこで一部工区に岡三リビングが納入したのが発泡スチロール軽量盛土「EDO-EPS工法」。土砂やコン

クリートの約1/100の重量で軟弱な地盤に負担を掛けず、人力でも施工できるハンドリングの良さで、厳しい施工条件下においてその威力を発揮します。

関係者の尽力により、同道も3月には下り能登方面が全線仮復旧。支援の拡充と物流の回復に弾みを付けました。



工事概要

施主：国土交通省北陸地方整備局
 工事名：令和6年能登半島地震
 能越自動車道道路啓開工事その7
 施工会社：株式会社安藤・間
 商品名 EDO-EPS工法 388m³



しかし何でも完璧とはいかない。二階は地上からすぐなのにエレベーター非停止階で、三階から下りるしかない構造がまわりくどいと住民から不満が出て、そこだけは外から直接入れる勝手口が後付けされたそう。

室内全体もデザインにこだわり、台所には国内初となるプレス加工のステンレス流し台が導入され先進性を強調。和室も見た目重視で八五〇×二四〇〇ミリという特殊な畳があつた。

特に興味深いのが一九五七年、東京都中央区に建った「晴海アパート」。定型的な団地間取りからの脱却を試みる斬新な高層アパートだった。エレベーター停止階と非停止階がある「スキップフロア」が特徴で、非停止階は不便と引き換えの広い住戸面積が人気だったという。その共用廊下は長屋的コミュニティ形成を念頭に幅二メートルを確保、子供の遊び場や井戸端会議に配慮している。さらに人の出入りが邪魔にならないよう各戸玄関も鉄扉ながら引き戸とされた。

先日、UR（都市再生機構）が運営する東京都内の展示施設「まちとくらしのミュージアム」を訪ねた。都市開発や災害復興などURが展開する事業のPR施設だが、その目玉は戦前の「同潤会」や戦後の公団アパートなど様々な団地住宅の間取りが再現された空間だ。

先進的アパート

徒然月記

記：編集T



岡三リビング株式会社

東京都港区港南1-8-27 日新ビル ☎03-5782-9080



札幌・盛岡・仙台・高崎・東京・新潟・金沢・長野
 静岡・名古屋・大阪・米子・広島・高松・松山・福岡
 鹿児島・沖縄リビング・岡三リビングベトナム